

令和5年11月

# 令和5年度11月補正予算案

補正後予算

5,636 億円

# 11月補正予算額（一般会計）

12 億円

令和5年7月九州北部豪雨災害対策

5 億円

通常補正等

21 億円

通常補正 : 3 億円  
人事委員会勧告を踏まえた  
人件費の補正 : 18 億円

新型コロナ対策

△14 億円

※10月以降のコロナ医療体制の見直しを踏まえた減額補正

## 令和5年7月九州北部豪雨災害対策

# がけ崩れ 等への対応により 地域生活の再建

- 7月豪雨災害対策予算 -

5.2 億円

今回

11月補正  
5.2 億円

新たに  
地元調整が  
ついたもの等

具体的  
には

## がけ崩れ対策等

人家

3.5 億円

例



かみむつろ  
(佐賀市富士町上無津呂)



いけぼる  
(唐津市七山池原)



対策後

擁壁工、のり面对策工

(イメージ)

林地等

1.7 億円

例



おおくし  
(佐賀市富士町大串三本松)



(佐賀市富士町大串一本黒木)



対策後

治山ダム

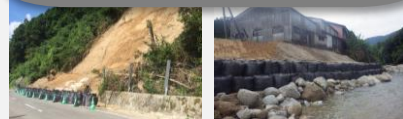
(イメージ)

9月補正  
196.4 億円

今坂地区 の復旧



道路・河川等 の復旧



農林漁業者 への支援



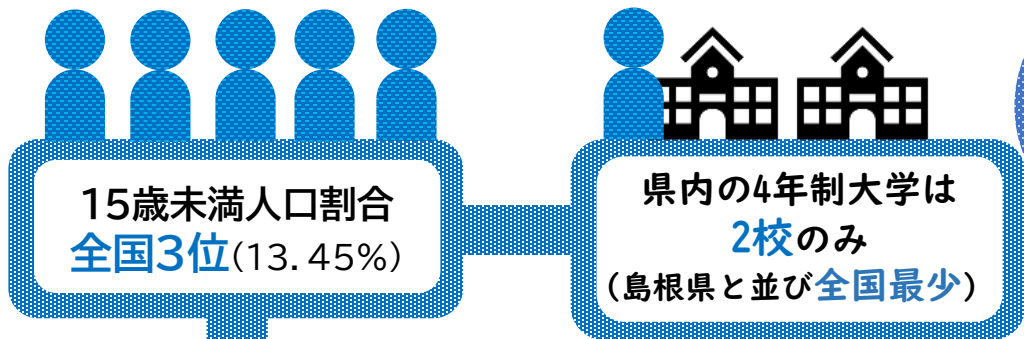
## 通常補正分

# 県内の高等教育を取り巻く環境

佐賀県では…

## 大学進学者の約8割が県外に進学

公立大学空白県 4県(栃木、徳島、佐賀、鹿児島)  
高専空白県 5県(埼玉、神奈川、山梨、滋賀、佐賀)



公立大学も  
高専も  
未設置の県は  
佐賀県だけ



### 佐賀県の課題

- 若者の大学進学時の県外流出
- 地域産業を担う中核人材育成

全国では…

## 平成の間に公立大学は急増

平成元年 39大学 → 令和5年 100大学

### 都道府県の財政力指数との関係を見ると

■佐賀県より財政力指数が低い3県  
全てが県立大学を新設(鳥取、島根、高知)

■佐賀県と財政力指数が同程度の都道府県13県

うち県立大学新設(9県)  
青森、秋田、岩手、山形、山梨  
長崎、大分、宮崎、沖縄

県内大学数 4→8  
自県大学進学率 19.1%→35.9%(R4)

県立大学新設なし(4県)  
和歌山: 県内大学数 3→5(私立大学2校開校)  
鹿児島: 県内大学数 5→6(私立大学1校開校)  
徳島: 県内大学数 4  
佐賀

県内大学数 3→2(佐大と医大の統合)  
自県大学進学率 15.2%→16.7%(R4)

# 佐賀県立大学 設置の「具体化プログラム」に向けて

## これまでの経過

R5.2

「県立大学の基本的な考え方」を公表

目的、大学のイメージ、定員規模、開学時期など

R5.9

「基本構想(素案)」を公表

基本理念、名称、学部構成イメージ、新しい大学への挑戦(キャリア教育、リカレント教育、子どもがふだん使いできる大学) など

R5.10

県民座談会の開催(5か所)



## 今後の流れ(予定)

R5.11

「基本構想(案)」を公表

本日

R5 年内

11月議会の議論を経て「基本構想」確定  
大学の大きさを示す

構想  
確定後

次のステージ

「具体化プログラム」着手

## 「具体化プログラム」

800万円

大学の根幹となる

- ・カリキュラム
- ・教員規模、人事
- ・設置場所
- ・施設

などを検討

大学の機能、組織等を決定



プログラム  
推進のため

今回予算化

専門家チームの設置

学部運営などに知見のある研究者  
3名程度

チームのサポート(業務委託)

教員資格、カリキュラム等、基準への適合を技術的にサポート



# 佐賀県立大学の基本構想(案)の概要

～時代の要請に応える実践的人材の育成～

想定する  
学部・規模  
のイメージ

IT(デジタル)と経営(マネジメント)をベースに学ぶ理文融合型の大学  
→「経営情報学部(仮称)」、入学定員200～300人を想定

設置場所  
の考え方

企業、研究機関、教育機関など関係機関との連携を図る観点と、通学利便性等も考慮し決定

開学時期

令和10年4月以降の開学を目標

県内出身者  
の受入

一般入試とは別に、地域枠、専門高校枠、県立大学附属のコース・クラスなどを検討

新しい  
大学像への  
挑戦

- リカレント教育  
社会人の「もっと学びたい」「学び直したい」意欲に対応
- 子どもがふだん使いできる大学  
子どもたちにとっても「未来の扉」となるよう、大学で小学生の授業を行うことができるなど、キャンパスを積極的に開放し、小中学生や高校生が普段使いできる大学を目指す

(素案)との違い

開学に向け  
今後詰めていく  
事項を記載

「具体化プログラム」



# SAGA 2024 に向けて開催準備 加速

## かごしま国体・全障スポ

## 県選手団 大活躍!



決勝は連覇中の福岡県に1点差で惜敗 準優勝  
ラグビー少年男子



種目別で優勝者6名  
初の競技別1位  
レスリング



水泳25m自由形  
大会新記録を樹立  
坪井夢輝 選手



堂々3位入賞  
なぎなた少年女子演技



成年男子、少年男子  
2種目1位など初の競技別1位  
スポーツクライミング



初出場ながらも大健闘の準優勝  
ソフトボール



鹿児島と分け合った1位  
銃剣道



頂点まであと僅か 準優勝  
弓道[近的]少年女子



自己記録を更新  
フラインクディスク5位  
糸山たくみ 選手

前年王者、和歌山と  
対戦し惜敗  
バレーボール  
(知的・男子)



国体 総合成績 21位 → 10位

人口規模の大きい県が上位。  
開催県以外では  
佐賀だけTOP10入り!



全障 スポ メダル獲得数 過去最多 40個

SAGA2024に向け 育成着々

いよいよ残り11か月を切り

開催準備も加速!

## 開閉会式会場等



仮設スタンド

会場装飾

## ウェルスポエリア



(イメージ)

(イメージ)

## 県外開催競技



カヌー

ライフル

馬術

# SAGA 2024

国スポ・全障スポ  
新しい大会へ。  
すべての人に、スポーツのチカラを。

債務負担行為

26.5 億円

## 全障スポ競技会場



スロープ

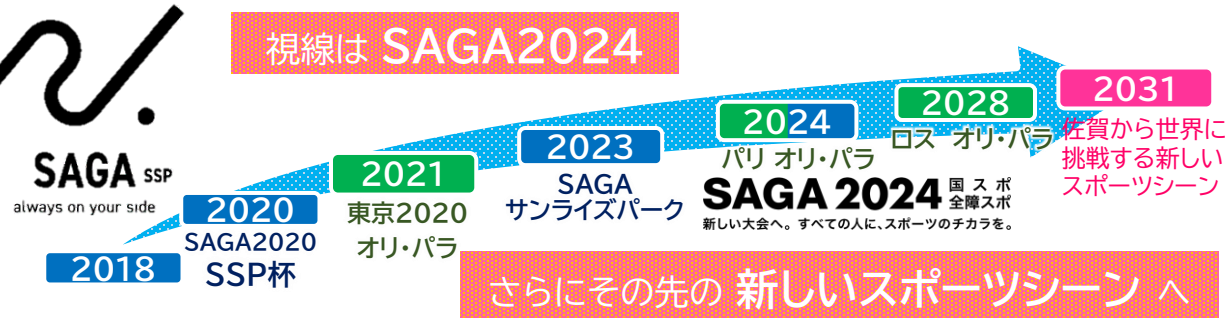
情報保障

## 警備(会場内・交通)等



+ 市町の  
施設整備  
り八大会  
補助

# SSP構想のさらなるすそ野拡大 2



佐賀市鍋島地区と合わせ



バスケの聖地“唐津”にもモデルを創出！

## バスケットコート(ハーフ)の整備

### ゴール改修、コート新設

債務負担行為  
**600**万円



## 県内市町への広がり

— SCHEDULE —

- コート設計 (~R6年度前半)
- コート整備 (R6年度後半~)
- R7年度~ オープン(予定)

# サガン鳥栖の強みを活かす

佐賀で「成長したい」アスリートをオール佐賀で応援

SAGA SSP  
always on your side

サガン鳥栖U-15

2020

2021

高円宮杯 優勝!



まさに “育成大県さが” の象徴

しかし U-15練習場の現状



調整池のため雨が降ると練習できない  
地面が凸凹のため怪我のリスクが高い

SSPアスリートの育成環境を整える

1.7 億円

+ 債務負担行為

2.8 億円

フルコートグラウンド、防球ネット、夜間照明 等



新グラウンド  
(産総研隣の公有地)

現在の練習場

駅前不動産スタジアム

佐賀 から 日本一



サガン鳥栖U-15出身  
現在、独FCバイエルン・ミュンヘンII所属  
樽原 慶輝  
Yoshiki NARAHARA

福井 太智  
Taichi FUKUI

そして 世界 へ挑戦!

— SCHEDULE —

グラウンド設計  
(R4~5年度)

グラウンド整備  
(R5~6年度)

R7年3月~  
オープン(予定)